

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	中国語第一		
英文授業科目名	Elementary Chinese I		
開講年度	2005年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	鷲巣 益美		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ

【主題および達成目標】
中国語の標準語の基礎を総合的に学ぶ。特にヒアリングと会話の基本となる「ピンイン」（ローマ字を使った中国語独特の発音表記法）の習得に重点を置く。夏休み前には簡単な自己紹介ができるようになることが目標。

【前もって履修しておくべき科目】
なし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし。

【教科書等】
クラスによって使用教科書が異なるので注意すること。 C,F,T,Hクラス：『公式でわかる初級中国語』朝日出版社 J,E,Mクラス：『始めよう！中国語』白水社 辞書などは授業中に紹介する。

電気通信大学 平成17年度シラバス

【授業内容とその進め方】

基本的には、テキストの音読 文法解説 文章の訳 再び音読 聞き取り練習 教科書の練習問題、の順に進める。進度や受講者の理解度によって、小テストや提出物を課することもある。文章の訳や練習問題の解答は、受講者を指名して答えさせる。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

- (1) 全授業回数の3分の2以上出席していれば定期試験を受けることができる。
- (2) 遅刻3回を欠席1回に換算する。
- (3) 中間テストや小テストは、定期試験とほぼ同格に扱う。試験の総得点により、評価する。
- (4) 授業中に指名された時に答えられない場合は、減点の対象となる。

【オフィスアワー：授業相談】

質問などがあれば、月曜の昼休みに、非常勤講師控え室（本部棟一階）へ来てください。

【学生へのメッセージ】

中国語は漢字を使うから楽そうだと思っていると、最初の授業で途方に暮れると思います。正しい発音を身に付けるには「ピンイン」と呼ばれるローマ字による表記法を完全に読み書きできなければなりません。授業中はほとんどこの「ピンイン」と顔を突き合わせることになります。漢字も日本で使われているものとは微妙に違い、さらに大陸と台湾では全く違う字体を使用しているため、まともに勉強しようとするとかなりの労力が必要です。

【その他】